

経 由

議 長



政務活動費交付請求書

令和5年3月31日

四日市市長

会 派 名 市民eyes

代表者氏名 小林 博次

四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、令和5年3月分政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請 求 額 726,425 円

2 政務活動費の対象となる経費

区 分	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費	588,945	活動レポート作成・新聞折込料
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	137,480	複合機リース料2月・3月、コピー代2月分
合 計	726,425	

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。

経 理 責 任 者



内 訳 明 細

令和5年3月分 No. 3

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費	588,945	活動レポート作成&新聞折込料
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	588,945	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

領 収 書

〒510-8601

三重県四日市市諏訪町1-5

四日市市議会 市民eyes 御中

領収書No. 2022061

発行日 2023/03/10

下記、正に領収いたしました。

合計金額

¥588,945

但

広告デザイン・WEB制作

NPOデザインサポート

代表理事 小川 朋子



〒512-0933 三重県四日市市三滝台二丁目20-21

Tel:090-1621-1885



品名	数量	単位	単価	金額	摘要
----	----	----	----	----	----

四日市市議会市民eyes 活動レポート

令和5年3月発行 B4 4/4 c	76,000	枚	3.26	247,760	
制作費	1	式		70,000	
折込料 (3/10朝刊)	75,050	枚	2.80	210,140	
手配管理料	75,050	枚	0.10	7,505	

小計	535,405
税率	10%
消費税	53,540
合計	588,945

備考 /

地域の諸問題解決に向けて

一つひとつの課題に対して常に市民目線に立ち、それを政策的にまとめ行政へ提言してきました。また、コロナ禍の3年間は市民のみなさんへの情報発信を強化し、市政とのパイプ役となって活動してきました。今後も私たち市民eyesは鳥の目、虫の目両方からまちを見つめ、市政を監視し、政策提言していきます。

— 未来への提言 —

R4.4-9

バスタ構想

「四日市から全国へ。」地域住民から観光客までどちらにも喜ばれる仕組みにしなければならない。それぞれのニーズをしっかりと捉えて、200億円もの巨額投資に見合ったまちづくりをしていくべきである。

都市軸の再編

市は、近鉄四日市駅からJR四日市駅への中央通りにおいて都市機能の集積、回遊性の向上、交通結節点の整備を進めている。JR四日市駅周辺の活性化の実現に向け、JR東海などとの協議をしっかりと行い、近鉄・JR両駅から四日市港まで繋いで「都市軸の再編」を実現するべきである。

新図書館構想

屋上に「空飛ぶタクシー」の離発着場を設置してはどうか。JR四日市駅を拠点にしてもよいかと考える。拠点から伊勢湾を飛行ルートに伊勢まで15分、三滝川を飛行ルートに湯の山まで10分、伊勢湾を横断してセントレアまで3分で行ける。

行政のデジタル化促進

さらには「デジタル地域通貨」で地域の活性化を図ってはどうか。地域の金融機関と連携したユニークな取り組みが他市でもみられる。高山市、飛騨市などで進められている、さるぼぼコインなど好事例を参考に、すでに設置されている四日市スマートリージョン・コア推進協議会の場を活用しながら、デジタル地域通貨導入について、可能性を研究していくべきである。

地域経済活性化

例えば「よんデジ券」において、アンケート調査も含め効果検証をしっかりと行い、よんデジ券の継続検討に繋げていくべきである。また、今はまだ地域振興券などのアナログ対応も実施するべき。手の届かない市民への対応を推進、実行していくべきである。

について
議会一般質問などで
市に提言してきた内容

真のカーボンニュートラル実現 ほかどりの食料システム導入

市民目線でまちを見つめて政策提言。



伊藤昌志 代表 小林博次 副代表 土井数馬

R4.10-R5.3

市民目線で
明日を創り
未来を育む

諏訪公園の再整備 (まちづくり)

中央通りの再整備と運動した「諏訪公園」の再整備を求め、商店街関係者や地元自治会の声を十分に拾った上での整備案を提言。

市民と価値観の共有 (説明責任)

市民が本当に必要としている丁寧な説明（低姿勢で同じ説明を繰り返すのではなく、市民にとって分かりやすくポイントを押さえたもの）で、事業目的が市民に明確に伝わるような説明が必要であることを提言。

コロナ禍における情報提供

ワクチンのメリット・デメリット及びマスク着用について国のデータ、情報を地方自治体の責任として分かりやすく情報発信することを提言。

JR 四日市駅周辺の再整備 (まちづくり)

大学の誘致、新たな自由通路で近鉄・JR両駅から四日市港までを繋ぐなど、市民意見を生かして価値ある再整備を進めることを提言。

自然災害対策の課題（防災対策）

富田地区を事例に雨水対策の課題について紹介、俯瞰した対策の必要性について提言

新保々工業用地の早急なる活用を

平成2年度に土地開発公社で取得した約4万坪の市の用地が令和3年度、市に帰属されている。

スマート踏切の検討・導入を！

10分以上開かずの踏切に対し、ハード対策が出来ないならば、ソフト対策を早急に検討、実施するべきである。スマート踏切の導入は、より正確でリアルタイムの情報を歩行者、自動車、列車の運転手、さらには遠く離れたOCC（オペレーション・コントロール・センター）に提供し、踏切での待ち時間短縮に大変有効である。

常に市民理解が得られるまちづくりを考え、提言しています。

デフレの続くなか、昨年末の提言は目の前と先を見据えた対策です。地方は地方で、タイミングよく効率的な経済対策を実施していくべきと考えます。旧笹川西小学校跡地利用に関する問題は、次の一步を踏み出しました。待機児童解消と学童保育環境の充実については改善要望し続けます。



新型コロナウイルス対策に関する提言<第12弾>

物価高に苦しむ市民に対して支援を!

手の届いていないところへの支援

年金生活者や障がい者、母子家庭、父子家庭及び年収200万円以下の派遣労働者やフリーターなど、支援の届いていないところへの対策を講じるべきである。給付金支給とともに、目の前の現金不足で困っている人々を助ける新たな緊急貸付金制度も設けるべきである。

例えば ・緊急貸付金制度 2万円(無利子・無担保・保証人なし)

有償ボランティア制度の拡充

無償ボランティア活動に時間をかけることは、気持ちはあってもなかなか困難である。そこで日常生活を支え合う様々な活動に対し、少しお金を出し合って助け合える有償ボランティアの拡充を図るべきである。(令和3年度議員政策研究会「市民協働促進のための基金制度についての分科会」参照)

「よんデジ券」に続く経済支援

好評だった四日市市プレミアム付デジタル商品券「よんデジ券」の再実施、よんデジ券を利用したくても利用できなかった市民へのフォローを講じるべきである。

例えば ・一人5千円の四日市市アナログ商品券贈呈
・ガラケーからスマホへの買い替えて四日市市アナログ商品券(2千円)進呈
・スマホ保有者にスマホ講座開催、修了後によんデジ特別商品券(2千円)進呈
・スマホを持たない人にスマホ無償貸与



#旧笹川西小学校 #笹川

旧笹川西小学校跡地利用に関する提言

まちづくりを考える委員会の設置へ。

地域の一体感やまちづくりの機運の醸成を図っていくために、地域の課題や将来のまちづくりの目標、方向性などの地域の在り方を、住民が主体となってまとめる「笹川地区の将来ビジョンの策定」を支援していくことで進みだしました。



昨年11月の市への提言から協議を重ね、改善推進中

令和5年度市長方針に対し様々な提言!

中心市街地再開発の全体像 # 時代に合わせた市全体の再整備

高齢者・障害者福祉 # 地域での助け合い # 障害者支援組織の活動の場の確保

新旧市街地ほか総合的にまちを創っていくための施策を練って対応していくべきであること。高齢者障害者対策では有償ボランティア制度の確立で新しい助け合いの仕組みを構築するなど、市民目線で多くの政策提言を行いました。

待機児童解消と学童保育の更なる環境改善を。

公立幼稚園の空き教室を活用すれば待機児童はゼロに出来る!

まだ待機児童の解消は出来ていない。

待機児童数(令和4年10月1日現在)

プロセック	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
北部	26	13	7	1	1		48
中部	8	4		1			13
南部	9	4	3	4			20
計	43	21	10	6	1	0	81

本市では、令和元年度から保育園の待機児童ゼロとしています。実際には年度途中で多くの待機児童がみられ、今年度も10月1日時点で0~2歳児を中心に81名もの待機児童がみられます。

また兄弟で別々の園に通う状況も散見されています。早急に改善することを求めています。

学童保育環境の改善も含め、長期的視野に立った計画を。

現在、市内に69箇所ある学童保育所の環境も様々です。今また、新たな施設が必要な地区も存在します。これらの状況から、空き施設、保育士などの人員不足、そしてこれまでと今の市民ニーズと様々な観点を踏まえた上で、保育環境、幼児教育環境を考え、待機児童実質ゼロ、学童保育の環境改善に向けて計画推進、実行していくべきです。大変大きな課題となっています。

四日市市学校規模等適正化計画(令和3年度推計より)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
市内の小学校 1年生の総数	2,536	2,414	2,275	2,262	2,300	2,024	2,157

↑各地区の児童数推計も勘案すべきである。

四日市市議会 会派 市民eyes(あいず)

編集・発行 令和5年3月発行

この広報誌は政務活動費により作成したものです。

市政へのご意見、ご要望をお寄せください

四日市市諏訪町1-5

TEL 059-354-8257 FAX 059-354-8304